

平成19年度の取り組み

1 取り組み状況

少子社会対策は、本市の重要な政策課題の一つであり、現在、「新新子どもプラン（平成17年度～平成21年度）に基づき、保健、医療、福祉、教育から生活環境など幅広い施策に総合的に取り組んでいます。

平成19年度は、新新子どもプラン策定時（平成17年3月）に掲げた339事業に、新規事業を加えた362事業のうち、361事業に着手し、子育てしやすい環境づくりに取り組みました。

さらに、計画期間の中間年にあたる平成19年度は、政策大綱やマニフェストの実現に向け、社会状況の変化や市民ニーズを踏まえながら、計画を拡充する見直しを行い、「ハートフル子どもプラン(新新子どもプラン拡充版)」を策定しました。

区分	全事業数	実施済	未実施	実施率
平成19年度	362	361	1	99.7%
平成17年度	339	338	1	
18年度新規事業	9	9	0	
19年度新規事業	22	22	0	
事業の統合	8(13 5)	8(13 5)	0	

各事業については、着手をもって「実施」と分類

2 関連経費（平成 18 年度との比較）

平成 19 年度は、新新子どもプラン推進のために、ソフト事業 278 億円、ハード事業 170 億円、全体で 448 億円の経費を要しました。決算総額をみると、平成 19 年度は、平成 18 年度に対し、5 億円の増となり、より子育て支援施策に力を入れています。

区分	ソフト事業	ハード事業	合計
平成 18 年度 (決算額)	268 億円	175 億円	443 億円
平成 19 年度 (決算額)	278 億円	170 億円	448 億円

3 主な新規事業の実施内容

平成 19 年度に取り組んだ新規事業の実施内容は、次のとおりです。

【地域づくりの視点】

市民一人ひとりが家庭を持つことや子どもを生き育てることの喜びが実感できるような「地域づくり」を推進するため、三層構造による地域のネットワークづくりという北九州らしい取り組みを積極的に進めました。

(2) 地域における子育て環境の醸成

370	NPO 公益活動支援事業	NPO 公益活動支援事業 ・申請事業数：7 件 ・助成事業数：6 件 ・助成金額：1,818,250 円
-----	--------------	---

(3) 子どもの視点に立った安全・安心なまちづくり

349	ハートフル住宅金利優遇制度	・受付戸数：15 戸 ・融資戸数：8 戸
-----	---------------	-------------------------

【子育て支援の視点】

子育て中の人や、子どもを持つことを望む人が直面する「出産や子育てへの不安・悩み・負担感」に対応するため、幅広い視点から、安心して子育てできる環境づくりに取り組みました。

(5) 子育て家庭への支援

350	家庭支援推進保育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・直営保育所9所にて加配保育士(各2名)を配置 ・民間保育所8所にて加配保育士(各2名)の人件費の一部を補助
351	認可外保育施設研修代替職員費補助	<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設11施設に対し補助を実施
352	保育指導専門員の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設49施設に対し指導を実施
353	認可外保育施設衛生・安全対策事業(児童分)	<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設13施設に対し補助を実施

(6) 子育てと仕事の両立支援

354	直営保育所給食調理業務の民間委託	<ul style="list-style-type: none"> ・2か所(H11・12年度)で給食調理業務委託を実施済
355	母子家庭のお母さんのための就業促進強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療事務」「ヘルパー2級」「パソコンエクセル3級」の3講座を増設、「日商PC3級」「エクセル2級」の補講を実施 ・利用者数：74人

(7) 親子の健康確保

356	育児不安を抱える親支援事業	<p>従来の訪問事業で未訪問であった対象者の中にも産後うつ等支援の必要な母親を発見し支援を実施。初産婦に限らず経産婦においても同様にフォローしていく必要性を認識できた。</p>
357	母子栄養食品支給事業	<ul style="list-style-type: none"> ・支給実人員：388人 ・支給延べ件数：1,417人

【健全育成の視点】

すべての子どもの人権が尊重され、子どもたちが心身共に健やかに成長し豊かな人間性を育むとともに児童虐待やいじめ、非行など、子どもとその家庭が直面する課題に対応するため、子どもの健やかな成長を支える環境づくりを進めました。

(8) 子どもの人権が尊重され、感性豊かに健やかに成長できる環境づくり

358	学校における学生ボランティアの活用	・福岡教育大学と協定を締結し、学生ボランティア10人配置
-----	-------------------	------------------------------

(9) 子ども自身の生きる力をはぐくむ体制づくり

359	「子どもの未来をひらく教育改革会議」事業	・平成19年10月会議開始。会議を6回開催し、教育の課題や方向性について幅広く検討した。
360	35人以下学級編制の実施	・平成20年度に増学級が予想される学校の教室整備 ・小学校：32校
361	学校施設の耐震補強	・実施設計：14校 ・耐震補強工事：14校（うち完了1校）
362	教職員の人事評価等に関する調査研究	・調査研究協議会において活用方法等の検討（処遇、活動内容）
363	北九州市立高等学校の充実	・校名変更（旧・戸畑商業高校） ・学科改編（普通科設置） ・通学区域の一部変更（スポーツや芸術の技術が優秀な生徒については市外からでも可） ・特待生奨学金を5名に給付
364	学校大好きオンライン事業	・第1期推進校4校を委嘱し、実施
365	菜の花プロジェクト推進事業	・モデル事業：4団体 ・BDFセミナー開催（10月・90人参加） ・種子の無料配布（市民、教育施設など：5,000袋）

366	子どもの健康・体力づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・門司区、若松区の2区で実施 ・参加者：各回30名程度
367	総合的な食育施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市食育推進会議」を設置し、11回会議を開催。食育推進会議からの提案により中学校完全給食モデル事業を開始
368	学校給食の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年1月9日から、PEN食器を102校一斉に使用開始 ・平成20年1月9日から、中学校完全給食モデル事業を3校で実施
369	中高生の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・夜宮「中高生クラブ」会員数：14名 ・夜宮中高生講座：3回

4 主な事業目標の達成状況

目標を設定した128事業の内、厚生労働省に報告を行う主な事業目標の達成状況は、次のとおりです。

	事業名	指標	目標	実績(H19)
5	地域子育て支援センター事業	実施箇所数	H16 7箇所 H21 14箇所	9箇所
29	ほっと子育てふれあい事業	会員数	H16 1,400人 H21 2,100人	2,187人
116	一時保育事業	実施箇所数	H16 36箇所 H21 60箇所	51箇所
134	延長保育事業	実施箇所数	H16 104箇所 H21 140箇所	126箇所
135	病児(病後児)保育事業	実施箇所数	H16 6箇所 H21 10箇所程度	8箇所
136	夜間保育事業	実施箇所数	H16 1箇所 H21 2箇所	1箇所
137	休日保育事業	実施箇所数	H16 7箇所 H21 7箇所	7箇所
138	特定保育事業	実施箇所数	H21 10箇所	5箇所
141	保育所の適正配置の推進	待機児童数	H16 57人 H22 0人	0人
143	放課後児童クラブの整備	クラブ数 待機児童数 移設箇所数	H16 123クラブ 122人 16箇所 H21 129クラブ 0人 26箇所	126クラブ 48人 24箇所
153	ショート・トワイライト事業	定員 ショート トワイライト	H16 16人 12人 H21 20人 15人	18人 14人